

# 設備機器利用技術講習会のご案内

## 【三次元形状測定装置、表面粗さ・輪郭測定機】

大阪府立産業技術総合研究所では、所有している試験研究機器等を用いて中小企業の皆様の新技術・新製品の開発や生産管理・品質管理のお手伝いをしています。これら試験研究機器の利用範囲、性能などの特徴をより具体的にご理解いただき、皆様方に一層ご利用いただくため、下記の要領で講習会を開催しますのでご案内申し上げます。

◆日 時：平成24年10月23日（火）14：15～16：15

◆場 所：(地独)大阪府立産業技術総合研究所（和泉市あゆみ野2-7-1 TEL:0725-51-2518）  
当日は、講習開始時間前に当研究所の玄関ホール講習会開催案内小ボード前に、ご集合ください。担当者が講習会場にご案内します。

◆定 員：5名

◆費 用：無料

◆申込み先：(地独)大阪府立産業技術総合研究所 顧客サービス室 顧客サービス課

※ お申し込みはメール ([fukyu@tri-osaka.jp](mailto:fukyu@tri-osaka.jp)) またはFAX (0725-51-2509) でお願ひします。  
メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信で受付をお知らせします。

なお、メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をお知らせする「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

◆対象機器：三次元形状測定装置、表面粗さ・輪郭測定機

### ・三次元形状測定装置

本装置は、自動車部品、組立部品、プラスチック成形品、電子部品をはじめ、リードフレームのような微細加工部品などの2次元、3次元形状を測定する装置です。タッチプローブセンサ、高感度CCDセンサ、レーザセンサの3方式による測定を1台の機械で実現した三次元形状測定装置です。3種類の高精度センサにより、微細加工部品や高精度機械部品、透明ガラスや鏡面仕上げ部品、樹脂成形品などの軟質材も測定可能であり、幅広い分野でご利用頂けます。

### ・表面粗さ・輪郭測定機

機械加工された表面の凸凹は、製品の品質や機能に大きな影響を与えます。ものの表面の様子を調べる時には、「ツルツルしている」、「ザラザラしている」などの表現をします。一方、表面の全体的な姿・形を表す時は、「凹んでいる」、「うねっている」などの表現をします。

本装置は表面の様子を測定する「表面粗さ測定」機能と、ものの表面の全体的な姿・形を測定する「輪郭形状測定」の二つの機能を持っており、検出器を交換することなく、寸法公差（半径、角度、段差、ピッチなど）と表面粗さの測定が可能です。

◆講習担当：(地独)大阪府立産業技術総合研究所

(TEL 0725-51-2518)

加工成形科

主任研究員 足立 和俊、安木 誠一

